



埼玉県のマスコット コバン



TOP NEWS

2/23
tue.

JA埼玉県女性協と埼玉県生協連との第21回早春交流会 災害を想定した「模擬炊き出し体験」 とお互いの活動を交流

第21回早春交流会が与野本町コミュニティセンターにて開催され、JA女性協より14人、埼玉県生協連より14人、事務局4人が参加しました。午前中は、「あなたが災害に備えていること」をフレーズに自己紹介をした後、豪雨による水害が発生したことを想定し「模擬(なんちゃって)炊き出し体験」を4グループで実施、限られた食材で何を作るか作戦会議で決め工夫した料理を作りました。午後は、各団体の活動交流と意見交換をしました。



1グループ ミートソース・サバ水煮缶・ジャム
2グループ カレーレトルト・さんま蒲焼缶・あんこ
3グループ ペーコン・コンミート・きなこ
4グループ たまご・ツナ缶・黒みつ

12/7~
mon.

県議会各政党・会派との懇談会 県生協連の取り組みや会員生協の事業概要等 について懇談

県内消費者団体交流会や第51回消費者大会・消費者行政の充実をはかる取り組み、第30回原爆死没者慰霊式やNPT行動参加報告会等の平和の取り組み、協同組合間提携の活動等を紹介し、意見交換しました。



12月7日 自民党役員の皆様と懇談



2月19日 民主党・無所属の会の皆様と懇談



3月1日 公明党議員団の皆様と懇談



12月18日 日本共産党県議団の皆様と懇談



12月14日 無所属改革の会の皆様と懇談

1/14
Thu.

2016年埼玉県生協連新春賀詞交歓会 各界代表70人が出席し 懇親を深めました

埼玉県生協連を代表し、岩岡会長理事が「2015年度は3つの柱に基づき活動を進め概ね達成できました、2016年度は新しい介護事業、省エネ・再エネ、消費者被害防止サポーターの拡充を進めていきます」とあいさつ。来賓の皆様から祝辞や消費者の安全・安心の確保のための生協への期待のあいさつをいただき、なごやかに懇親を深めました。



3/6
sun.

オール埼玉総行動実行委員会 安保関連法廃止!立憲主義を取り戻す オール埼玉総行動に1万人が集う

さいたま市大宮区・鐘塚公園にて開かれ、1万人が集いました。弁護士をはじめ幅広い団体・立場の人たち87団体で構成する実行委員会が主催。主催者代表あいさつ、リレートーク、ゲストのスピーチ、後に大会アピールを採択しました。集会後は、3グループに分かれてパレードを行いました。

※埼玉県生協連は実行委員会に参加し協力しています。



1/21・28
2/3
thu. tue. wed.

県内消費者団体地区別交流会 寸劇・法律・事例から 消費者被害防止の対処法を学ぶ

各地域の消費者団体の活動交流を通して、活動の活性化につなげていくことを目的に3地区(川越・熊谷・春日部)で開催し、25団体76人が参加しました。「高齢者に対する送り付け商法」の寸劇をうけての解決方法のグループワーク、弁護士・司法書士による講演「見て、考えて、消費者保護の法律について学びましょう」と、消費生活コンサルタントの会からの「消費者被害の最新情報」を学習し、意見交換と交流をしました。



2/24
wed.

適格消費者団体NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会 機能性表示食品の表示をみる ポイントを学ぶ

浦和コミュニティセンターにて、講師に鬼武一夫氏(日本生協連安全政策推進部長)を迎え、「機能性表示食品・表示の見方～買う前に広告やパッケージのここを読み～」をテーマに開催し、57人が参加しました。トクホ・栄養機能食品と機能性表示食品の違いを把握すること、機能性表示食品は可能な限り公開情報を確認すること、表示をよく読むこと、わからない場合は利用しないことが大切だと話されました。



広がる 県内生協の 多彩な活動

コープみらい



「もったいないが食育の基本」をテーマに講演を行う森野熊八さん

コープみらいの食育「たべる、たいせつ」シンポジウムを開催しました

1月30日(土)、コープみらいの食育の取り組みを広く知っていただくことを目的に、コープみらい・コープみらい財団共催でコープみらいの食育「たべる、たいせつ」シンポジウムをベルサール八重洲(東京都中央区)で開催し、約350人来場いただきました。料理人でタレントの森野熊八さんによる基調講演、女子栄養大学副学長の五明(ごみょう)紀春(としはる)さん、関東農政局経営・事業支援部地域食品課長の鶴岡佳則(よしのり)さん、森野熊八さんらによる食育をテーマにしたパネルディスカッションを実施。親子で楽しみながら食育について学ぶことができる展示・体験ブースも多くの参加者でにぎわいました。

医療生協さいたま



総合防災訓練・トリアージ訓練実施で大規模災害に備える

1月30日(土)、医療生協さいたま埼玉協同病院(川口市)で、大規模災害発生に備え、総合防災訓練・トリアージ訓練を行いました。対策マニュアルに基づき、地震による患者避難や多数の被災患者の来院に対する準備から対応までの訓練、火災を想定した初期消火活動を実施。トリアージ訓練では、患者役を設定し、医師・看護師などが、患者の重症度によって治療の優先度を決定するトリアージを行いました。災害対応能力の向上を図るための臨場感あふれる訓練となりました。

さいたま住宅生協



現場見学会を開催

2月13日(土)、はじめに小川町で、さいたま住宅生協設計施工の「明日家(あすか)」仕様の家、竣工3年目住宅を見学しました。こだわりの間取り、自然素材、地元県産材を使用、棟梁の技が随所に見られる家でした。次に、嵐山町で現在建築中の「明日家」仕様の家、構造材は埼玉県産材使用、耐震等級の2級を取得、県からの補助金を受けています。当日は、セルローズファイバー(断熱材)の充填作業も実演しました。参加した組合員から「こんな家を建ててみたい」「断熱をしっかりやることで熱効率も良いことが実感できた」等の感想が寄せられました。

パルシステム埼玉



福島の実状を語る鎌仲ひとみ監督

「小さき声のカノンー選択する人々」上映会

2月6日(土)、武蔵浦和コミュニティセンターで、鎌仲ひとみ監督のドキュメンタリー映画「小さき声のカノンー選択する人々」の上映会を開催しました。これまで核や被ばくをめぐる映画を撮り続けてきた鎌仲監督が今回取り上げたテーマは被災地での母親の選択。福島原発事故で被災した母たちの、子どもを守るための強い意志と苦悩に迫ります。上映後は鎌仲監督のトークイベントを行いました。鎌仲さんは福島の実状を話し、会場の人々に子どもたちの保養活動の必要性を訴えました。

生活クラブ生協



生活困窮者支援法制度についての学習会を開催しました

2月12日(金)、「生活困窮者自立支援法(制度)」の基本的な理解を深めることを主目的とし、生活クラブ虹の街(千葉単協)から、岩上章子さん(福祉・たすけあい事業部職員)前副理事長、榊原樹子さん(くらしと家計の相談室相談員)前理事を講師としてお招きし学習会を開催しました。生活クラブ千葉は「家計相談・家計再生事業」に取り組んでおり、先進事例を学びました。多くの組合員の理解のもとに、埼玉単協として取り組む福祉事業の議論につなげることを目指します。

子どものその保育生協



卒園生対象事業始まる

好天に恵まれた1月31日(日)午前10時から、子どものその卒園生を対象にした「のとさんの工作教室」第1回が開かれ、紙ロケットづくりでにぎわいました。おとな25人、子ども43人が参加して、46台のロケットが作られ、青空に飛ぶロケットに歓声をあげました。この工作教室は子どものその保育生協理事会の新事業検討委員会が主催したもので、規模を縮小した保育生協の50年の実績と理念を継承するために、卒園生向けの事業として計画されたものです。

埼玉大学生協



早期合格者交流会を開催

埼玉大学生協では新入生が少しでも不安を取り除いて入学できるように新入生歓迎企画やサポートセンター等を行っています。その中の1つとして、2月27日(土)に推薦やAO入試で合格した新入生を対象にした「早期合格者交流会」を行いました。当日は63人の新入生が参加してくれ、室内や体育館でのレクリエーション、夕食作りを通して交流してもらいました。参加者からは「楽しかった!」「友達ができた」という声を頂くことができ成功に終わりました。